

柏市自立支援協議会全体会

第3回 (R2.11.11)

資料2

柏市自立支援協議会 全体会 部会報告シート

【部会名】	相談支援部会	【部会長】 地域生活相談センター シヤル 関口 篤行
<p>1 相談支援部会</p> <p>(1) 第1回相談支援部会 (6月8日にメール通知)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・部会長等役員人事について (書面開催)</li></ul> <p>(2) 第2回相談支援部会 (8月7日開催)</p> <p>ア 運営方針</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を踏まえ、部会開催について十分な感染対策を行った上で実施することを確認した。</li><li>・本年度のテーマは、主に次期ノーマライゼーションかしわプラン (以下、「次期プラン」) について検討、地域課題、相談員のスキルアップ等に取り組む。</li></ul> <p>イ スケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・今後の活動予定の通り。</li></ul> <p>ウ 相談支援連絡会</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・次期プラン検討にあたり、相談支援専門員の声を取り入れるため、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をふまえた実施方法について検討した。</li><li>・本年度のテーマは相談員のスキルアップに加え、8050問題、ひきこもり対応等についても取り入れて実施する。</li></ul> <p>エ 計画相談実務者ワーキングチーム</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・連絡会同様、意見交換の必要性を鑑みて、1回以上の開催とした。</li></ul> <p>オ 次期プラン</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・昨年度の提言をふまえ主に相談支援体制、ケアマネジメント体制の充実について市から説明を受けた。各委員からの提案については次回部会までに事務局にて取りまとめることとした。</li></ul> <p>(3) 第3回相談支援部会 (10月2日開催)</p> <p>ア 相談支援連絡会</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・リモートと対面を合わせての開催としたが質疑が円滑に進まなかった等、課題が残ったため、開催方法について再度検討した。</li><li>・第2回以降は地域生活支援拠点の活用をふまえ実施することとした。</li></ul>		

#### イ 次期プラン

- ・前回の意見交換をふまえた修正点について市から説明を受けた。修正点のうち、主に相談員数の増加、障害福祉サービス事業所の文書量削減等負担軽減の支援について意見交換を行った。福祉総合相談窓口については対象者を明確にすること。ひきこもり等の相談についても検討いただくよう申し入れた。また文書削減については内容を更に検討頂くこととした。

#### ウ その他

- ・障害者の一時保護事業について市から説明を受け、対象者や具体的取り組み内容について質疑応答を行った。

### 2 相談支援連絡会

#### (1) 第1回相談支援連絡会（9月25日開催）

##### ア 次期プラン

- ・相談支援体制、総合相談窓口について質疑応答を行った。

##### イ 令和2年度柏市の相談支援体制

- ・地区別に担当ケースワーカーの配置、地域生活支援拠点との連携等について市から説明を受け、意見交換を行った。

##### ウ 障害者虐待防止センターについて

- ・市から昨年度実績と今年度の途中経過について説明を受けた。

### 3 計画相談実務者ワーキングチーム

#### (1) 第1回計画相談実務者ワーキングチーム（10月14日開催）

##### ア 活動方針

- ・昨年度に引き続き、主に次期プランの検討及び事例検討を行う。

##### イ 委員の選任

- ・昨年度末で辞任された委員の後任について推薦を行った。

##### ウ 次期プラン

- ・相談支援体制、総合相談窓口について意見交換を行った。

##### エ 事例検討

- ・退院後の在宅生活とサービス調整及び関係機関との連携が必要なケースについて検討を行い、意見交換を行った。

#### 4 柏市精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業

##### (1) 第1回実務者会議 (7月29日開催)

- ・今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の影響で開催時期が遅れ、7月に第1回目を開催した。
- ・昨年度までは、地域生活支援拠点あおばにて開催していたが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の影響があり、密を避けるため、3か所に分かれてグループごとに集まりグループワークを実施。全体の共有事項はZoomにて行った。
- ・前回の会議から期間が空いてしまったため、まず昨年度の振り返りを行い、その後、今年度取り組むべき課題について話し合いを行った。昨年度予定していた取り組み課題が、この影響でできなくなってしまったことも多くあるため、コロナ禍でもできる取り組みについて再度議論した。

##### (2) 第2回実務者会議 (9月23日)

グループごとに集まり、グループワークを中心に行った。

##### 【今年度の取り組むべき課題】

- ・第1グループ(普及啓発)「教育機関に向けての障害理解の促進」

小中高生を対象に、「精神障害の理解促進」、「誰でもなりうる」、「普通に接して欲しい」、「何かあったら相談できる」等を目指して、冊子の配布や出前授業を実施する。今年度は試験的なプログラムの実施を目標とする。

- ・第2グループ(医療)「利用者の病状管理の方法について」

入退院時に共通で使用できるシートの作成を進める。当事者と一緒に作成できるクライシスプランを活用し、関係機関で共有、定期的な見直しを行いながら、レッドゾーン項目になった段階で入院を検討できるようにしたい。

- ・第3グループ(障害福祉)「支援方法の統一化及び支援者の不安軽減を図る」

タイムリーな情報共有と支援方法の統一化を図るため、訪看・ヘルパー・相談等各関係機関が共通で使用できる連携シートを作成する。アセスメント表やケアプラン等を参考にし、各機関が必要と思う項目の洗い出しを行い、シートに落とし込んでいく。

また、世話人・グループホーム支援員の精神障害理解の促進と不安の軽減のため、事例検討を中心に合同勉強会を開催する。今年度は企画と日程調整を行う。

##### 【今後の活動予定】

1. 相談支援部会 第4回:令和2年11月6日、第5回:令和3年1月22日
2. 相談支援連絡会 第2回:未定
3. ワーキングチーム 第2回:1月13日
4. 柏市精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業 2ヶ月に1度開催

【部会名】 はたらく部会

【部会長】 よつば工房  
室山 圭史

1 はたらく部会

(1) 書面開催（令和2年6月8日にメール通知）

ア 部会長等役員人事について

(2) 第1回（令和2年8月3日）

ア 今年度スケジュール

部会は第2回を令和2年10月28日、第3回を令和3年1月7日開催。

リモートによる臨時部会を令和2年9月29日に開催。

連絡会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を考慮した開催方法について検討（後述参照）。

イ 部会の開催方法

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を考慮したリモート会議の導入について意見交換。委員の半分強の方がリモートによる会議参加経験がある。周囲の音を拾ってしまう等、各事業所の環境による課題はあるが、状況をみながら活用していきたい。

ウ 就労定着支援の充実

柏市沼南商工会と柏商工会議所より、「企業側に対しての障害者を雇用するノウハウや補助金などの情報が行き届いていない」との意見があがった。特性を理解することで、強みを生かした業務を行うことができる点を企業に伝えていく必要があるため、柏市沼南商工会と柏商工会議所にご協力いただきながら、引き続き具体的な取り組みを検討していく。

ほかに、在宅勤務や自宅待機の方が増えており、生活リズム等に不安のある方が増加。また、コロナ禍による求人数の減少、対面面接や説明会の機会の減少など意見があがった。

エ 工賃向上に関すること

コロナ禍により、企業からの受注作業や自社製品の販路が減少する等、工賃への影響が出ている。コロナ禍における工賃向上の取組みとして、通信販売や返礼品への登録を推進することや、各事業所の商品を取りまとめて販売できる窓口があると良い等の意見があがった。

ほかに、販売促進シートについては物品や役務に特化して作成し、障害者優先調達推進法と関連させて取り組んでいく。

(3) 臨時（令和2年9月29日 リモート開催）

ア 次期プランについて

- ・「柱3及び重点施策」について説明を受け、意見交換を実施。

- ①個々の企業へのきめ細かい働きかけ、企業をサポートする人材の育成
  - ②企業見学会や福祉事業所を知ってもらう取組
  - ③就労移行支援、就労継続支援A・B型事業利用者の層が幅広くなっていること
  - ④引きこもりや就労体験が少ない人が増加していること
  - ⑤障害者雇用を促進する上での重要なポイントについて
  - ⑥市内障害福祉事業所の製品コンテスト等を実施
- 等意見があがった。これらの意見をもとに具体的な取組を検討していく。

(4) 第2回（令和2年10月28日）

ア 次期プラン柱3及び重点施策について

- ・最新の資料をもとに変更点の説明を受け、臨時部会で上がった意見を共有。追加の意見を確認。また、各委員よりコロナ禍における現状と変化についてご報告頂いた。

イ 各連絡会の開催について

①開催日と方法

- ・12月9日、一般就労連絡会と福祉的就労連絡会を同日開催予定。  
2会場に分け、少人数での対面開催とする。

②各連絡会の検討内容や取組み

- ・一般就労連絡会では、支援者のスキル向上に焦点を当てていく。経済団体からの意見を共有した上で、企業へのアプローチや情報提供方法を学び、地域で支援力の底上げを目指す。
- ・福祉的就労連絡会では、コロナ禍を乗り越えるため、市内事業所同士が助け合える体制づくりに焦点を当てていく。協力体制の構築、販路拡大、民間企業関連の有益な情報交換の場など、連絡会のネットワークを活用していく。
- ・共通課題として、ひきこもりや就労経験が少ない方への支援について各連絡会で検討。

ウ その他

- ・テレワーク未導入の企業を対象に、松戸市と合同で研修会を開催予定。  
詳細決まり次第、共有。

2 一般就労連絡会（第2回 部会報告を参照）

3 福祉的就労連絡会（第2回 部会報告を参照）

【今後の活動予定】

- |             |                  |          |
|-------------|------------------|----------|
| 1. はたらく部会   | 第3回：令和3年1月7日（木）  | 15時半～17時 |
| 2. 一般就労連絡会  | 第1回：令和2年12月9日（水） | 13時半～15時 |
| 3. 福祉的就労連絡会 | 第1回：令和2年12月9日（水） | 15時半～17時 |



- ・巡回指導は、第Ⅰ期中止、第Ⅱ期9月頃より再開。

#### 4 児童発達支援連絡会（10月23日開催）

- ・新規事業所紹介
- ・地域生活支援拠点について概要説明
- ・連絡会職員研修について
- ・保育所等訪問支援について
- ・放課後等デイサービスへの繋ぎ、利用受付時期等について
- ・教育委員会児童生徒課より

#### 【今後の活動予定】

##### 1 こども部会

- ・第4回 令和3年1月5日（火）10時～12時

##### 2 事業担当者会議

- ・第1回 11月10日（火）10時～12時
- 11月16日（月）10時～12時
- 11月24日（火）10時～12時

##### 3 早期支援担当者会議

- ・未定

【部会名】 暮らし部会

【部会長】 社会福祉法人 彩会  
平山 隆

1 暮らし部会

(1) 第1回暮らし部会（令和2年6月8日にメール通知）

ア 部会長等役員人事について（書面開催）

(2) 第2回暮らし部会（令和2年8月25日開催）

ア 年間スケジュール

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をふまえ、今年度は十分な新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をした上での開催とすることを確認した。

イ 感染症防止対策及び災害対策について

- ・障害者が陽性軽症者等になった場合の対応、PCR検査体制、グループホームへの補償を市に求める意見があった。

ウ 次期プランについて

- ・昨年度実施したアンケートの結果を踏まえ、高齢化・重度化に対応した施設の充実について主に意見交換を行った。介護保険と障害福祉サービスの柔軟な運用や報酬の見直しを求める声があがった。人材不足についても意見があった。

(3) 第3回暮らし部会（令和2年10月19日開催）

ア 年間スケジュール

- ・世の情勢により変更はあるが、対面の良さを考慮し十分な感染症防止対策をした上で今年度は対面での開催とした。

イ 第2回暮らし部会及び第1回グループホーム等連絡会報告

ウ 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策及び災害対策について

- ・柏市における障害者の一時保護事業について意見交換を行った。具体的な対象者や対応について説明を求める意見が多くあがった。感染疑いの方が出た際のグループホームの対応について意見交換をした。

エ 次期プランについて

- ・地域移行支援や地域定着支援の現状について意見交換をした。グループホームの需要と供給の差異、人材育成、グループホーム等支援ワーカーの設置、平日グループホーム利用者の支給決定について意見があった。

## 2 グループホーム等連絡会

### (1) 第1回グループホーム等連絡会（令和2年9月8日開催）

#### ア 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策及び災害対策について

- ・各グループホームのコロナ禍での対応や困りごとについて意見交換をした。市へ求めることとして、障害者の濃厚接触者への具体的な対応、PCR検査体制の強化、グループホームへの補償制度の弾力的な運用について意見があった。通常とは異なる環境でストレスを抱える利用者の支援方法が共通課題としてあがった。

## 3 居宅支援連絡会

### (1) 第1回居宅支援連絡会（令和2年11月30日開催予定）

## 4. グループホーム等支援ワーカーの具体的役割

### (1) 事業者への支援

#### ア 支援者との勉強会

- ・時間や場所、少人数に臨機応変に対応できる出前講座等の企画及び実施。
- ・事業所の枠を越えたグループホームで働く人達の定期的な交流会の実施。

#### イ 相談及び助言

- ・新規開設時の制度や法律に関する相談及び障害福祉課、建築、消防等との情報連携。
- ・事業者（設置者、従業者）の困りごとの相談。
- ・グループホームへの定期巡回の実施。

### (2) 利用者、支援者への第三者的な立場での支援

- ・利用者とグループホームのマッチングへの助言。
- ・他の専門機関（医療、学校、相談支援事業所等）へ繋ぐ支援。  
（例えば、ADL低下に伴うグループホームでの生活支援の困り感についての相談）

### (3) 地域の現状と課題を探る

- ・他の圏域との情報共有を通して、地域課題の解決に向けた政策提言へと繋ぐ。

### (4) 基本的な役割に加えて、柏市のグループホーム等支援ワーカーとして上記の役割を第三者的な立場で担って頂ける機関が任う。

#### 【今後の活動予定】

○くらし部会 第4回：12月25日（金）

○居宅支援連絡会 第1回：11月30日（月）

<p><b>【連携機関名】</b>          柏市障害者差別解消支援地域協議会</p>	<p><b>【事務局担当】</b>          障害福祉課 針替</p>
<p>1 開催報告</p> <p>(1) 第1回柏市障害者差別解消支援地域協議会（6月19日書面開催）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ（第1回柏市障害者権利擁護ネットワーク会議と共通）             <ul style="list-style-type: none"> <li>①新型コロナウイルス感染症に対する貴団体の対応や課題について</li> <li>②新型コロナウイルス感染症対策下における，差別や虐待を含む権利擁護に関する事案について</li> </ul> </li> </ul> <p>2 トピックス</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症対策下における，差別や虐待を含む権利擁護について</p> <p>各委員から実際に起こった事例や起こりうる事例を，差別に関わるものを中心に報告してもらい，今後も続く新型コロナウイルス感染症対策下で，どのようにすれば障害者の権利が守られるかを検討している。</p>	
<p><b>【今後の活動予定】</b></p> <p>○第2回：11月18日（水）</p> <p>○第3回：令和3年1月29日（金）</p> <p>今後も，新型コロナウイルス感染症対策下における障害者の権利擁護について検討を進めていく。</p>	

<b>【連携機関名】</b> 柏市障害者権利擁護ネットワーク会議	<b>【事務局担当】</b> 障害福祉課 針替
<p>1 開催報告</p> <p>(1) 第1回柏市障害者権利擁護ネットワーク会議（6月19日書面開催）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ（第1回柏市障害者差別解消支援地域協議会と共通）             <ul style="list-style-type: none"> <li>①新型コロナウイルス感染症に対する貴団体の対応や課題について</li> <li>②新型コロナウイルス感染症対策下における，差別や虐待を含む権利擁護に関する事案について</li> </ul> </li> </ul> <p>2 トピックス</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症対策下における，差別や虐待を含む権利擁護について</p> <p>各委員から実際に起こった事例や起こりうる事例を，虐待に関わるものを中心に報告してもらい，今後も続く新型コロナウイルス感染症対策下で，どのようにすれば障害者の権利が守られるかを検討している。</p>	
<p><b>【今後の活動予定】</b></p> <p>○第2回：11月18日（水）</p> <p>○第3回：令和3年1月29日（金）</p> <p>今後も，新型コロナウイルス感染症対策下における障害者の権利擁護について検討を進めていく。</p>	

<b>【連携機関名】</b> 柏市医療的ケア児等支援連絡会	<b>【事務局担当】</b> 社会福祉法人ぶるーむ
<p>1. 第1回コアメンバー会議（6月11日）</p> <p>(1) 今年度の活動方針について            重点課題…昨年度からの継続事項</p> <p>① 通学支援について            ② 普通級・保育園への受入れについて            ③ 従事者を増やす取り組みについて            ④ 災害時の対応について</p> <p>2. 第1回医ケアコーディネーター会議（6月24日）</p> <p>① 医ケア児等の計画相談支援の実績、今後の見通しを確認            ② 今後コーディネーターのスキルアップを目的とする勉強会を開催。</p> <p>3. 柏市議 浜田氏を招き、通学支援の制度について意見交換（6月30日）</p> <p>4. 第1回連絡会全体会（書面開催）</p> <p>① コアメンバー議事録を各委員に送付、内容について承認を得る。</p> <p>5. 保育運営課との意見交換（9月30日）</p> <p>① 医ケア児の保育園への受入れについて、現状の共有と今後の受け入れ拡大に向けた取り組み等について</p> <p>6. 第2回連絡会全体会（10月15日）</p> <p>(1) 現状の課題、重点課題の再確認</p> <p>① 上記に加え、高等部卒業後の通所先等社会資源確保について</p> <p>(2) 会の取り組みについて進捗状況の報告</p> <p>① 障害福祉課より、通学支援の制度について現時点での検討状況を報告            ⇒ 移動支援の活用、有資格者(看護師・喀痰吸引のできるヘルパー)の同乗等を踏まえ、制度の詳細設計の段階</p> <p>② 児童生徒課より、普通級への受入れについて他自治体における先進事例として、大阪府豊中市の体制について報告</p> <p>③ 保育運営課より、保育園への受入れについて昨年度、今年度の実績および現時点での受け入れ基準等について報告</p> <p><b>【主な意見】</b></p> <p>① 医療的ケア児を取り巻く環境も、子どもたちの状態像も年々変わってきている。学校での受け入れも進んでいる中で、保護者や地域の期待も高まっている。保育運営課だけで解決しようとせず、連絡会や関係機関の経験や知見も頼って頂き、体制を整えていくためにできることを考えたい。</p>	

- ②国で明確に医療的ケア児を受け入れるという方針が出されている以上、どうやったらできるかを考えていくしかない。100%安全な状況など作れないことは覚悟しつつ、緊急時にどのように対応するかを現場と調整することで安全・安心を担保し地域のニーズに応えていくことが期待されている。
- ③専門的人材育成について、現在市内に5名いる医ケアコーディネーターの活用について今後要検討

④ノーマライゼーションかしわプラン 柱4について意見交換

**【主な意見】**

- ①児童に関する内容に偏重しており、成人についても言及してほしい。
- ②医ケアに関する記述が各柱に分散されてしまっており、体系的に見え辛くなっている。重複記載になってもまとめて記載してよいのではないか。

**【今後の活動予定】**

(1) 実数調査

- ・今後の災害対策や施策を方向づける、個人情報にひもづくデータベース作りを目的とした、市内在住の医ケア児・者の全数把握調査を行う（今年度～来年度実施予定）。

(2) 障害福祉課との意見交換

- ・上記重点課題、および障害児通所支援の支給決定基準について、会と障害福祉課との間で課題認識の共有と意見交換を行う旨の要望書を提出済み

<b>【連携機関名】</b> 柏市地域生活支援拠点運営協議会	<b>【事務局担当】</b> 障害福祉課 長谷川
<p>1 開催報告</p> <p>(1) 第1回柏市地域生活支援拠点運営協議会（令和2年10月27日開催）          ぶる一むの風にて、以下の点について協議を行った。</p> <p>ア 会長、副会長の選任          会長に松井委員、副会長に若松委員が選任された。</p> <p>イ 地域生活支援拠点（以下、拠点）の活動報告</p> <p>ウ 障害福祉課の体制について          拠点の地区ごとに障害者支援担当の職員を2名ずつ配置している。</p> <p>エ ノーマライゼーションかしわプラン、福祉総合相談について</p> <p>2 トピックス</p> <p>(1) コロナ禍の拠点運用について（意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幸い、市内福祉サービス事業所では新型コロナウイルスの感染者は出ておらず、拠点の相談機能もこれまで通り機能している。</li> <li>・今後、拠点に一時保護施設としての役割が求められるのではないかと。</li> <li>・基幹相談センターとして、自立支援協議会各委員へ意見を募り、市や厚労省へ投げかけ、回答を得た。今後も何かあった際には繋ぐ役目を意識したい。</li> <li>・福祉サービス事業所としては、収益の増減があった。</li> </ul> <p>(2) 拠点実務者会議からの要望</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・拠点で緊急で受けた短期入所の遡り支給決定を認めて欲しい。</li> <li>・虐待防止対応について、障害福祉課に専任職員を配置して欲しい。</li> <li>・他市からの相談が増えており、各自治体で拠点を配備するよう市から働きかけをして欲しい。</li> </ul> <p>(3) 次期ノーマライゼーションかしわプランについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・拠点の評価を自立支援協議会で行う件については方法等を市で再検討する。</li> </ul> <p>(4) 福祉総合相談について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運用については不明確な部分もあるが、市民に開かれた相談窓口として、目的や対象者について協議が行われた。</li> </ul> <p>(5) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の議事「相談支援専門員の人材育成、質と量の向上」については、次回の協議会で検討する。</li> </ul>	
<b>【今後の活動予定】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度は2回の開催を予定している。</li> <li>2回目は令和3年1月に開催予定。</li> </ul>	